

## HD時代のCG制作環境にも適した Premiere Pro HD編集システム



大本 珠樹氏



TBS「スパスパ人間学」

### 会社

#### PD トウキョウ

放送用CG制作をサポート。綿密なカラコレや  
微調整、最終書き出しを担う。

[www.pdtokyo.co.jp](http://www.pdtokyo.co.jp)

### 使用製品

- Adobe Premiere Pro
- Adobe After Effects

港区赤坂に所在するPDトウキョウは、CG制作を中心に、合成作業まで一貫した制作体制を整えている。都内キー局に向け、番組オープニングタイトルやロゴ、医療番組や報道番組などの解説CGなどを、スタッフ総勢20名ほどで手掛けている。主な作品は『スパスパ人間学』『報道特集』『チャンネル・ロック』『ニュース・アカデミー』『IQサプリ』『金曜日のスマたちへ』などのTV番組内のCGや、『IQサプリ』『おはスタ』や『デュエル・マスターズ』のCGキャラクター制作、『うたばん』でのCG合成など。ほか、CD-ROM制作、ウェブ3DやFlash、ストーリーミングなど幅広い制作に着手している。

メインとなる3Dソフトは、3ds maxやLightWave。制作したCGと実写との合成作業も増える中、各マシンにもPremiereがインストールされている。ある程度の編集や尺の調整などは各クライアントマシンで行うが、最終調整と書き出しには必ずPremiere Pro HDシステムを使用すると言う。PDトウキョウが今年の春に導入したのは、クレセントがシステム販売しているBluefish444のシステム製品だ。入出力カードは10bit非圧縮、HDとSDに対応、YUV4:2:2入出力のBluefish444「HD|Fury」。HD|Furyは、HDからSDへハードウェアリアルタイム出力が可能で、Premiere ProやAdobe After Effectsなどをバンドルしている。PDトウキョウのチーフディレクターである大本 珠樹（おおもと・たまき）氏は「現在、HDでの納品というものはまだそれほどの数ではありませんが、ドラマでも

HD撮影が増えつつあり、今後を考えるとHDで納品できる体制も整えておきたかったのです」と話す。

「当社では、以前はSGIベースのHDシステムを導入していたのですが、昨年頃から新たな導入を検討していました。その際、HDに特化しながらWindowsシステムとの親和性を持つHD|Furyに着目したのです。3Dを制作しているそれぞれのWindowsマシンでAfter Effectsの合成も行いますが、特にHD素材を合成する際、クオリティー追求のためHD|FuryシステムのAfter Effectsで非圧縮合成を行います。また、PCではインタレースの確認が取れないことと、納品前の厳密なカラコレなどはやはりマスモニでの確認が必要となるので、データ納品でない限り、必ずHD|FuryシステムのPremiere Proで完成させます。このシステムでは、HD/SDの入出力がスイッチャブルで切り換えることが



TBS「逃亡者」(合成映像)



フジテレビ「脳内エステ IQ サブリ」



TBS「報道特集」(事件再現映像)

できるので便利です。HD/SD 素材が混在する中、SD 素材の場合は SD でキャプチャーして編集が可能、また HD 素材の場合でも SD と同様な作業が可能です。HD から SD へのダウンコンバート出力機能もあります」

PD トウキョウの制作ワークフローの例としては、解説 CG を作る場合、3D ソフトと After Effects で 3D アニメーションを制作、それをネットワーク上のサーバーを介して HD|Fury システムに送る。HD|Fury システムの編集ソフト Premiere Pro では、尺の調整、カラコレ、ペータカムなどのテープ落としを行う。ドラマの一部など、実写との合成が伴う場合、素材を HD|Fury システムの Premiere Pro でキャプチャーし、boujou でトラッキングデータを作成する。3D 素材との合成を After Effects で行い、再び Premiere Pro で微調整しながら書き出す。「最近では、番組のディレクターも自ら Premiere Pro を使用して粗編などを行う方が増えています。Premiere Pro のシステムがあれば、プロジェクトファイルでのやりとりが行えます」 Premiere Pro は前バージョンのファイルでも読み込むことができる。

大本氏は「Premiere は Premiere Pro に進化してから、便利な点が増えました。例えば、アンドゥーを実行しても、元のレンダリングファイルはまだ存在しているので再度レンダリングを行う必要がなくなりました。また、Wave フォームを持つカラコレ機能も大変役に立ちます。ほか、After Effects のプラグインが読めるようになったことや、複数のシーケンスが設定できるようになったことなども、当社の制作にとって大変有意義です」と語っている。

"Windows システムとの親和性。そして HD/SD の混在環境にも便利な Premiere Pro が最適だった"

PD トウキョウ チーフディレクター  
大本 珠樹氏

#### お問い合わせ先

アドビ製品は、お近くのアドビ認定ディーラー (AAD: Adobe Advanced Dealer) でお問い合わせください。AAD リストをはじめとする最新情報は、アドビシステムズホームページ ([www.adobe.co.jp](http://www.adobe.co.jp)) で入手して下さい。製品の購入に関する詳細はカスタマーインフォメーションセンター (tel.03-5350-0470) へお問い合わせください。

アドビシステムズ株式会社 〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー・[www.adobe.co.jp](http://www.adobe.co.jp)  
Adobe Systems Incorporated 345 Park Avenue, San Jose, CA 95110-2704 USA・[www.adobe.com](http://www.adobe.com)

アドビカスタマーインフォメーションセンター (製品に関するお問い合わせ) 03-5350-0407

アドビストア (注文専用) フリーダイヤル 0120-60-3884 または 0120-61-3884

受付時間 9:30 ~ 17:30 土、日、祝日および弊社指定休日を除く

※アドビストアはアドビのオンラインストアです。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Premiere Pro および After Effects は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。その他すべての商標は、それぞれの権利帰属者の所有物です。

© 2004 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved. Printed in Japan.

XXXXXXXX 0/02

